

南臺科技大學 函

機關地址：台南市永康區南臺街一號

承辦人：黃心瑜

電話：06-2533131#6301

傳真：06-3010007

電子信箱：jap@stust.edu.tw

受文者：國立暨南國際大學

發文日期：中華民國106年6月16日

發文字號：南科大日字第1060008209號

速別：普通件

密等及解密條件或保密期限：

附件：如文

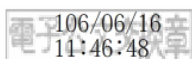
主旨：檢送本校「亞洲服務業管理之應用與未來展望——服務產業的發展與日語人才培育——」國際學術研討會」徵稿章程如說明，敬請惠予公告，並轉知貴校相關系所師生惠賜稿件，請查照。

說明：

- 一、近年來台日兩國積極推展服務產業，其經濟產值已經遠超過製造業。為促進台日服務產業之交流、深化知識，並分享研究成果，將於本校南臺科技大學舉辦「亞洲服務業管理之應用與未來展望-服務產業的發展與日語人才培育-」國際研討會。
- 二、本國際研討會將於2017年11月17日(星期五)假本校圖書館13樓國際會議廳舉辦。
- 三、投稿方式：請參閱附件徵稿內容與申請書。
- 四、聯絡人：本校應用日語系盧駿葳老師，EMAIL:stust_japanese@stust.edu.tw。

正本：公私立大專院校

副本：本校應用日語系



總收文 106/06/16



1060010500

2017 年 南臺科技大学応用日語系 国際シンポジウム

研究発表 募集要項(日本語)

1. 主題: 「アジアのサービス業管理応用と未来の展望

—— サービス産業の発展と日本語人材育成 ——

2. 開催目的と意義:

近年、台日両政府とも、サービス業の更なる発展が雇用を生み、経済を成長させると考えており、それぞれサービス産業の更なる成長を促すための政策をとっている。我々高等教育機関にとっても、こうした政府の方針は少なからず影響を受けることになる。政府がサービス産業を雇用創出のキーファクターとしてとらえているならば、それを意識した上での教育方針の設定も必要になってくるかもしれない。特に、社会で即戦力となる人材の育成を期待されている技職系大学の場合、これまで以上に多岐にわたる教育内容を求められる可能性もある。例えば、医療ツーリズムや展示会といったこれまで想定していなかった分野に対応した人材育成も、必要となってくるかもしれない。また、日本政府による外国人の在留資格取得要件の緩和は、台湾で日本語を学ぶ学生にとって、日本での就労の機会が拡大することを意味する。このような現状を踏まえ、本シンポジウムでは、以下のことを中心に議論し、情報を共有していきたいと考えている。

① サービス産業の現状と今後の展望

② サービス産業の発展を見越した人材（特に日本語の話せる人材）育成の現状、課題、今後の展望

③ インターンシップ制度の現状、課題、展望

本シンポジウムが、日本語教育において少しでも役に立てば幸いである。

3. 主催: 南臺科技大学人文社会学院応用日語系

4. 会場: 南臺科技大学 国際会議室 (710 台南市永康区南台街1号 E棟13階)

5. 日程: 2017年11月17日(金)

6. 研究発表

●口頭発表

◆ 使用言語: 日本語/中国語/英語

◆ 発表時間: 一人30分(発表20分、質疑応答10分)

◆ 発表内容: 今回の主題・開催目的に沿うもの。

◆ 交通費など: 当シンポジウム発表のための費用(交通費、宿泊費など)は基本的に自己負担となります。

●ポスター発表(10名限定)

◆ 使用言語: 日本語/中国語/英語

◆ 発表内容: 今回の主題・開催目的に沿うもの。

(ア) 申込方法: 郵送(消印有効)、E-mailのいずれか

(イ) 申込書類:

(A) 申込書 ※添付した別紙をご使用ください。

(B) 発表要旨 (A4判横書き一枚以内、1200字以内、日本語・中国語・英語のいずれか)

(ウ) 申し込み期限: 2017年7月31日(月)

(エ) 申込先: 南臺科技大学人文社会学院応用日語系 (710 台南市永康区南台街1号) 黄心瑜 助教

E-mail: stust_japanese@stust.edu.tw

(オ) 採用に関して :

要旨受理の後、審査委員会による審査をすみやかに行ない、2017 年 8 月 7 日 (月) までに、採用の可否を主催者側よりお知らせいたします。審査は、基本的に、以下の二点をふまえて行なう予定です。

- ① 本シンポジウムの主題・開催主旨に適合しているか
- ② 学術的成果が期待できるか

なお、お申込み多数の場合、上記基準に適合していても不採用となる場合もございます。あらかじめご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

発表決定者の方にはシンポジウム終了後、本学系宛に発表論文を提出して頂きます。発表論文の書式、全文提出締め切りなどについては、発表決定者の方に直接お知らせいたします。

(カ) 論文集に関して :

本シンポジウムでは、シンポジウム終了後に論文集を発行いたします (ISBN 有り)。PDF 形式で本学応用言語系 HP 上で発表いたします。製本された論文集 (有料) をご希望の方は、当日受付にてお声がけください。後日郵送いたします。(当日は発表の要旨のみをお配りいたします。)

(キ) 「サービス産業」という言葉の定義について

本シンポジウムにおいては、基本的には「広義のサービス産業」、すなわち、産業構造における第三次産業に含まれるものを「サービス産業」とします。狭義のサービス産業について言及する場合は、その旨記述をお願いいたします。

2017 年 南臺科技大學應用日語系 國際研討會

研究發表 徵稿(中文)

1・題目：「亞洲服務業管理之應用與未來展望

—— 服務產業的發展與日語人才培育——」

2・舉辦目的與意義：

近年來台日兩國積極推展服務產業，其經濟產值已經遠超過製造業。政府於服務產業之各種領域皆有許多相關政策與輔導措施，藉以提升整體經濟發展。本國際研討會以廣義的服務產業為主要討論議題，亦即包含第三次產業。

服務產業的產值為帶動經濟成長之重要一環，高等教育之教育方針也受到其影響，致力於服務產業培育更多頂尖人才。技職體系培育人才具備畢業即就業的就業即戰力，在諸多領域中具有其一定的優勢。加上近年來台日政府對外國人之居留條件採放寬政策，使得台日除文化交流外，於就業市場有了更多更深的彼此學習機會。是故，本國際研討會除討論廣義之服務產業外，盼於以下課題有更多的知識交流，藉以在教育、學術界上有一定程度之參考意義。

(1) 服務產業之現狀、課題與今後之發展

(2) 服務產業之發展所需人才之教育現狀、課題與今後之發展

(3) 實習制度的現狀、課題與今後之發展

3・主辦單位： 南臺科技大學人文社會學院應用日語系

4・會場： 南臺科技大學 國際會議廳 (710 臺南市永康區南台街1號 E棟圖書館 13樓)

5・日期： 2017 年 11 月 17 日(五)

6・研究發表

●口頭發表

◆ 使用語言： 日文/中文/英文

◆ 發表時間： 每人 30 分(發表 20 分, 問題與回答 10 分)

◆ 發表內容： 須與此次主題・舉辦目的相關

◆ 交通費等： 參與該發表費所需費用(交通費, 住宿費等)請自行負擔

●海報發表 (限 10 名)

◆ 使用語言： 日文/中文/英文

◆ 發表內容： 須為與此次主題以及舉辦目的相關之議題

(1) 報名方式： 郵寄(以郵戳為憑), 或 E-mail

(2) 報名所需文件：

(A) 報名表 ※請使用附件

(B) 發表摘要 (A4 橫式一張以內, 1200 字以內, 日文、中文、英文 擇一即可)

(3) 報名截止日期： 2017 年 7 月 31 日 (一)

(4) 報名處： 南臺科技大學人文社會學院應用日語系 (710 臺南市永康區南台街1號) 黃心瑜 助教

E-mail: stust_japanese@stust.edu.tw

※TEL: (06) 253-3131 分機 6301 / 傳真: (06) 301-0007

(5) 論文接受與否之通知：

摘要受理後，審查委員會盡速著手審查，主辦單位並將於 2017 年 8 月 7 日 (一) 前通知審查結果。基本上審查預定依據下列兩點來進行

① 是否符合本研討會之主題・舉辦宗旨

②是否可展現學術成果：

另，如遇申請件數過多，而造成即使符合上述基準也不予採用之情況，尚請見諒海涵。

煩請發表者於研討會結束後向本系提交所發表之論文稿件藉以發行論文集(ISBN)。

有關論文發表之格式，全文提出之期限等，將直接通知發表者。

- (6) 關於論文集：本研討會於研討會結束後，發行論文集（具 ISBN）。並採取 PDF 形式公布於本校應用日語系網頁。如有需要論文集（須自費）者，請於當天告知報到處之服務人員。主辦單位之後會採以郵寄方式送達。（當天只會印出發表摘要）。

(7) 關於「服務產業」一語之定義

本國際研討會之服務產業為「廣義的服務產業」，亦即在產業構造中包含於第三次產業之「服務產業」。如果有欲提及狹義的服務業產業之情況，煩請簡附說明，亦可為題目之小標題。

南臺科技大學應用日語系 2017 年國際學術研討會論文發表申請書

2017 年南臺科技大學応用日語系国際シンポジウム 研究発表申込書

姓名 (氏名)		國籍 (国籍)	
所屬單位 (所属)		職稱 (職位)	
聯絡電話 (連絡電話)		行動電話 (携帯番号)	
E-mail		傳真(ファックス)	
通訊地址 (連絡住所)			

論文題目 (発表テーマ) (中文的題目 以外請附加日 文或英文題目)	(中) (日／英)
發表語言 (発表言語)	☐ 日文 ☐ 中文 ☐ 英文
發表形式 (発表方法)	☐ ☐ 頭發表(口頭発表) ☐ 海報發表 (ポスター発表)

摘要
(要旨)

研究業績	
------	--